

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年03月30日

計画の名称	広域的な交流や都市力を高める基盤整備												
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	相模原市												
計画の目標	広域ネットワークを形成する道路等の整備を進め、活力あふれ安心して暮らせる広域交流拠点都市を形成する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	22,958	A	22,956	B	0	C	2	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値	最終目標値 (H30末)
1	地域間を結ぶアクセス時間として、相模大野駅から藤野駅までの往復時間を172分から160分に短縮する。 道路現況データ(センサス)や道路整備区間から相模大野駅から藤野駅までの往復のアクセス時間を算出する。	172分	分	160分

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	相模原市	直接	-	国道	改築	(国)413号・青根～ 青野原バイパス	バイパス L=0.2Km	相模原市						4,163	-	
	「安全・安心な暮らしを支える基盤整備計画(防災・安全)」へ移行																		
	A01-002	道路	一般	相模原市	直接	-	市町村道	改築	(市)相原76号ほか	新設 L=0.8Km	相模原市							3,065	-
	A01-003	道路	一般	相模原市	直接	-	市町村道	改築	(市)相原宮下	バイパス整備 L=0.84Km	相模原市							1,646	-
	A01-004	道路	一般	相模原市	直接	-	市町村道	改築	(市)相原大沢・第1工 区	バイパス整備 L=0.10Km	相模原市							15	-
	A01-005	道路	一般	相模原市	直接	-	市町村道	改築	(市)相原大沢・第4工 区	バイパス整備 L=0.18Km	相模原市							656	-
	A01-006	街路	一般	相模原市	直接	-	S街路	改築	(都)相原大沢線・第3 工区	バイパス整備 L=0.14Km	相模原市							851	-
A01-007	街路	一般	相模原市	直接	-	S街路	改築	(都)相模原二ツ塚線	現道拡幅 L=1.00Km	相模原市							2,040	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-008	道路	一般	相模原市	直接	-		国道	改築	(国)413号・二本松	交差点改良 L=0.2Km	相模原市						670	-	
	A01-009	道路	一般	相模原市	直接	-		都道府 県道	改築	(主)町田厚木・南台	交差点改良 L=0.3Km	相模原市						510	-	
	A01-010	道路	一般	相模原市	直接	-		都道府 県道	改築	(主)相模原大磯・高田 橋工区	交差点改良 L=0.11Km	相模原市						371	-	
	A01-011	道路	一般	相模原市	直接	-		市町村 道	改築	(市)相原宮下・延伸部	バイパス整備 L=0.84Km	相模原市						3,742	-	
	A01-012	道路	一般	相模原市	直接	-		市町村 道	改築	(市)相原大島	歩道整備 L=0.20Km	相模原市						108	-	
	A01-013	道路	一般	相模原市	直接	-		市町村 道	改築	(市)淵野辺中和田	交差点改良 L=0.3Km	相模原市						733	-	
	A01-014	道路	一般	相模原市	直接	-		市町村 道	改築	(市)小山66号	歩道整備 L=1.2Km	相模原市						961	-	
	「通学路の安全・安心を確保する基盤整備計画(防災・安全)」へ移行																			

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-015	道路	一般	相模原市	直接	-	市町村	改築	(市)相原大山・西橋本	交差点改良 L=0.28Km	相模原市						209	-	
	A01-016	街路	一般	相模原市	直接	-	S街路	改築	(都)宮上横山線	バイパス整備 L=0.67Km	相模原市						3,216	-	
											小計						22,956		
											合計						22,956		

C 効果促進事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	C01-001	道路	一般	相模原市	直接	-	-	-	バス停留所の上屋等の整備	上屋2基、ベンチ2基	相模原市						2	-		
		道路事業に合わせて、バス停留所の上屋及びベンチの整備を行い、公共交通の利便性を高め、地域経済・社会の活性化を図る。																		
											小計						2			
											合計						2			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	641	752	353	131	115
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	641	752	353	131	115
前年度からの繰越額 (d)	0	44	367	217	28
支払済額 (e)	597	429	503	320	124
翌年度繰越額 (f)	44	367	217	28	19
うち未契約繰越額(g)	0	305	148	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	38.31	20.55	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		民間事業者の移転先確保に時間を要しているため	地権者との交渉に時間を要したため		

事前評価チェックシート

計画の名称： 広域的な交流や都市力を高める基盤整備

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性 1) 上位計画等と整合が図られている。(計画名 国土形成計画全国計画、社会資本整備重点計画、新・相模原市総合計画)	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性、円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 全体事業費、要素事業の額が適切である。	○
III. 計画の実現可能性 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○

